

地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地区名	第九小学校通学区域
開催日時	平成 29 年 11 月 30 日（木） 午後 7 時から午後 8 時 3 分まで
会場	中部地区会館 403 集会室
参加者	市長の出席（有・無） 市民 10 名、地域担当職員 3 名 合計 13 名（うち男性 10 名 女性 3 名）
（議題等）	
開会	
議題 1 子どもと高齢者の見守りに関する具体的な取組について	
議題 2 その他	
① 次回検討事項について	
② 次回開催日について	
閉会	
（結論（決定した方針、解決すべき課題、保留事項等））	
各委員は、子どもと高齢者の交流を促進すると思われる、グランドゴルフ、将棋、及び学習塾に代わる寺子屋などの取組について、手伝っていただける人、活動場所などについての情報収集をすることとなった。	
（会議の内容）	
開会 ・会長挨拶	
議題 1 現在行っている各団体の取組等、各委員に確認した。取組内容等は次のとおり。	
・高齢者に対する取組は地域包括支援センターが行っているが、子どもと交流する取組が少ない状況なので、その方法について検討している。なお、保育園と連携して多世代間交流を実施している。	
・放課後子ども教室に参加し交流を図っている。また、下校中の子どもに声を掛けたり、まっすぐ家に帰らない様子の子などに積極的に話しかけている。	
・グループホームそよ風と連携し、学校行事に参加してもらっている。今後も学校を通じて高齢者との交流を進めていく。	
・高齢者は老人会を通じて交流を図り、子どもは夕方のチャイムに合わせて外の様子を見るなどして見守りをしている。	
・地域活動の観点から中学生と接点を持つことは難しいと感じているが、3年生の進路面接を拡大し、地域の方に指導等してもらった。多業種交流や中藤保育園などとの取組も進めている。	
・子どもの見守りについては、散歩や買い物に出掛ける際に通学路を通るように会員に周知しているが、高齢者に対する見守り活動は現在行っていない。現在の活動は元気な高齢者が前提なので、今後は社会福祉協議会と協力しながら介護が必要な高齢者などへの取組を進めていく予定。	
・散歩時など外を歩きながら子どもに声掛けをしている。高齢者と一緒に歩いている人を見かけるが、どこにそのようなサポートが必要な高齢者が住んでいるのかわからないので、高齢者に対する取組は行っていない。	

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの落とし物など学校へ持参・連絡していただき地域で見守っていただいている状況に感謝している。高齢者との取組として、グループホームそよ風との交流を行っているが、今後も継続していきたい。 ・子どもと高齢者が話をするができる機会、場を設ける必要性を感じる。本会議でその方法について話し合う必要があるのではないか。 ・市において10月から、高齢者対策として助成金の制度が始まった。集いの場づくりに活用できると思う。 ・子どもと高齢者の交流が進む取組について、子どもの塾に係る費用の負担が大きいとの声がある。昔の「寺子屋」のイメージで、現役を退いた元教員などの協力が得られるのではないか。 ・武蔵村山市はグランドゴルフが盛んであり優秀なプレーヤーも多いことから、子どもとの交流に活かせるのではないか。 ・活動場所として、第9小学校のグラウンドは一般開放しているが、空き教室は無い状況である。 ・グループホームそよ風など、交流場所を提供してくれそうな人についても本会議に参加してもらう方が良いのではないか。→事務局で声掛けを行うこととなった。 ・交流場所として、老人福祉館や福社会館も活用できるのではないか。 ・交流内容として、ブームとなっている将棋やゲーム、スマートフォンの利用方法を教えあう事などが考えられる。 ・学校では既に放課後クラブと称して、けん玉、こま回し、囲碁及び将棋などを教えてもらう取組を行っているので、現状を踏まえた少人数での交流としてもらいたい。 ・学校の勉強以外に、戦争を経験している高齢者の話を子どもが聞く取組が必要ではないか。 ・不審者情報については、高齢者へ直接伝達されるしくみがあれば、その情報により子どもの見守りに活用できると思うが、実際はどのようなになっているのか。 →市のメールによる情報提供サービスを設定すれば、直接伝達される。 →市のメールによる情報提供サービスの案内チラシにより周知できる。 →事務局で案内チラシについて確認する。
議題2 その他
① 次回検討事項について 今回の議題を継続
② 次回の開催日について 平成30年2月1日に開催
閉会
(次回予定)
日 時 平成30年2月1日
会 場 未定
議 題 等 子どもと高齢者の見守りに関する具体的な取組について